

金沢健一 延長線上のマリオネット 3

ひととひとがたの間

Kenichi Kanazawa Marionettes by Extension 3
Between Human and Humanoid

2025年8月5日(火)–24日(日)

月曜休館 (ただし8月11日は開館)、8月12日(火)は休館

9:00–17:00 観覧無料

川越市立美術館

延長線上のマリオネット—歩く人 photo: Bokuyo Tarao

金 沢 健 一 延長線上のマリオネット 3

ひととひとがたの間

Kenichi Kanazawa Marionettes by Extension 3
Between human and humanoid

2025年8月5日(火)–24日(日)
月曜休館(ただし8月11日は開館)、8月12日(火)は休館
9:00–17:00

主催：金沢健一 川越市立美術館

【関連イベント】

①～③の申し込み：8月1日(金) 9:00 から、電話またはFAXにて
美術館まで

① ワークショップ「音のかけらを作る」(材料費 4,000 円)

内容：直径 35cm の鉄板を熔断し、《音のかけら》を制作します。その音を体験し、みんなで色々な演奏を試みます。制作した作品一式は持ち帰れます。

講師：金沢健一(出品作家)

日時：8月11日(月・祝) 10:00–15:00 会場：創作室

対象・定員：小学校4年生～大人・10名(先着)

② ワークショップ「ひととひとがたの間」(参加費 1,000 円)

内容：「ひととひとがたの間」をテーマとした動きのワークショップです。丁寧に身体を感じるところから始め、少しずつ動きに繋げていきます。ダンス未経験の方も大歓迎です。

講師：鈴木ユキオ(振付家・ダンサー)

日時：8月17日(日) 10:00–12:00 会場：アートホール

対象・定員：小学校4年生～大人・10名(先着)

③ ワークショップ「抽象の方法論—デフォルメ(変形)された人間像」(材料費 1,000 円)

内容：紙や木、針金などを使って人間を描いたり作ったりする造形ワークショップです。

講師：金沢健一(出品作家)

日時：8月23日(土) 13:30–16:30 会場：創作室

対象・定員：小学校4年生～大人・10名(先着)

④ ダンスパフォーマンス「ひととひとがたの間」(無料)

内容：ダンサー・鈴木ユキオが「ひととひとがたの間」をテーマに踊ります。

出演：鈴木ユキオ(振付家・ダンサー)

日時：8月16日(土) 15:00–16:00 会場：企画展示室

⑤ トーク & デモンストレーション(無料)

内容：出品作品についてのトーク、およびデモンストレーションです。

出演：金沢健一(出品作家)

日時：(1) 8月9日(土) 14:00–15:00 会場：企画展示室

(2) 8月24日(日) 14:00–15:00 会場：企画展示室

「ひととひとがたの間」と題し、近年展開しているマリオネットによる作品の展覧会を開催します。

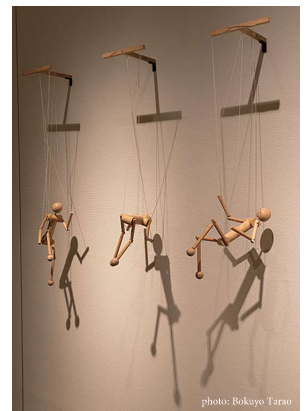
球と円柱で構成された極めてシンプルなマリオネットは、当初、鉄板を不定形に熔断した作品《音のかけら》から音を出すための道具の一つとして制作したのですが、これほどまでに人間を感じさせ、感情移入できるとは思いませんでした。それは「ひとがた」の持つ力なのか、人間の感情や存在を凝縮したようなものを感じました。その後、複数のマリオネットを組み合わせることで人間の在り様や社会を連想させる表現へと展開しました。今年3月に発表した《延長線上のマリオネット—歩く人》ではモーターを使い自動化を試み、会期中、音楽が繰り返し流れる中で2体のマリオネットは同期とずれを繰り返しながら板を踏み鳴らし歩き続けました。マリオネットの歩く行為や踏み鳴らす音を通して人間の生への営みを象徴的に捉えてみました。

「金沢健一 延長線上のマリオネット 3 ひととひとがたの間」ではその延長線上の展開として人間とマリオネットが織りなす関係性を掘り下げ、人形が持つ象徴性や身体性を通じて人間の生への営みや在り様を捉えてみたいと思います。

金沢健一



《延長線上のマリオネット—歩く人》2025



《延長線上のマリオネット—糸》2025

金沢健一 Kenichi KANAZAWA

彫刻家。工業製品としての金属、鉄、ステンレス、アルミニウムを素材に、幾何学的な形態による構成的な作品、またそれと並行して、不定形に熔断した鉄板から音を発見する《音のかけら》、振動の物理現象であるクラドニ図形を利用した《振動態》など視覚、聴覚、触覚を結びつける作品も制作している。多くの美術館で展覧会、ワークショップを展開し、自らもパフォーマンスを行い、音楽家や舞踊家とのコラボレーションも多い。

1956年 東京生まれ

1979年 東京藝術大学美術学部工芸科鍛金専攻卒業

1981年 東京藝術大学大学院美術研究科修了

現在、東京造形大学非常勤講師、東北芸術工科大学非常勤講師、日本大学芸術学部非常勤講師

鈴木ユキオ Yukio SUZUKI

振付家・ダンサー。世界 50 都市を超える地域で活動を展開し、しなやかで繊細に、且つ空間からはみだすような強靱な身体・ダンスは、多くの観客を魅了している。'08 年にトヨタコレオグラフィアワード「次代を担う振付家賞(グランプリ)」など受賞多数。また、小学生出演ダンス作品の振付・演出や、障害のある方へのワークショップなど、身体と感覚を自由に開放し、個性や感性を刺激する表現を生み出す活動を幅広く展開している。「YUKIO SUZUKI projects」主宰。

<https://kingyocompany.wixsite.com/yukiosuzuki>

【交通案内】

●東武東上線・JR川越線(埼京線)「川越駅」東口7番のりば、西武新宿線「本川越駅」5番のりばから東武バス「川越運動公園/埼玉医大/上尾駅西口」行きで「川越市役所前」下車徒歩5分

●同「川越駅」東口1・2・4・5・6番のりば、「本川越駅」5番のりばから東武バス「蔵のまち」経由で「札の辻」下車徒歩8分

●同「川越駅」東口3番のりばから小江戸名所めぐりバスで「博物館前」下車

●同「川越駅」西口2番のりば、「本川越駅」から小江戸巡回バスで「博物館・美術館前」下車

川越市立美術館

〒350-0053 埼玉県川越市郭町 2-30-1

TEL:049-228-8080 FAX:049-228-7870

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/artmuseum/>

